

日本とつながりの深い国々 (P70～75) 名前 ()

めあて アメリカの生活や行事、文化などについて調べよう。

(1) P68 からアメリカ合衆国のデータをまとめよう。

国旗	
意味	赤と白の横線は独立したときの 13 州、星は現在の州の数 (50 州) を表している。
首都	ワシントン D.C.
面積	約 983 万 km ²
人口	約 3 億 2700 万人
主な言語	英語

(2) アメリカの小学生の生活を知ろう。

まずは…人種・民族って何？ P71 ことばをまとめましょう。

皮ふや目の色のちがいで人間を区別する「人種」というとらえ方と文化や言語、生活様式のちがいで区別する「民族」というとらえ方がある。こうしたちがいによる偏見がこれまでたくさんの差別や対立を生んできた。差別をなくすために世界的な取り組みが進められている。

メグさんの 1 日

時刻	様子
AM 7 : 00	・朝食は (シリアル) に牛乳をかけたものやトーストを食べる。 ・学校へ通う方法は、歩いたり、(自転車) に乗ったり、(スクールバス) を使ったりと人によってさまざま。
AM 7 : 55	・アメリカではたくさんの (人種) や (民族) がくらしている。 ・朝、学校に着くと (国旗) に向かって忠誠のちかいを行う。 ⇒ たくさんの人種や民族の (心) を 1 つにまとめるため。
AM 10 : 00	・授業は (20) 人くらいで受ける。 ・社会科の教科書はとても (厚い) 。⇒ 1 年間使った後に次の (6 年生) にゆずる。

AM 1 1 : 2 5	・授業では、(自分の考え) を述べる機会が多く、スピーチや (ディベート) の授業が日本よりもさかん。 ・ (コンピューター) の授業が重視されている。 ・飛び級といって、(成績) がとてもよい子はどんどん上の学年に (進級) していく。 ・幼稚園から (高等学校) まだが (義務教育) で、授業料や教科書は、(無償) 。
PM 1 2 : 4 5	・昼食は、給食の学校もあるが、わたしたちの学校では、お弁当が学校の (売店) を利用する。⇒みんなでランチルームで食べる。 ・食べ終わった後は (昼休み) 。そうじは、(担当の人) がするので、わたしたちはしない。 ・日本のような (クラブ活動) はない。
PM 6 : 1 5	・学校から帰ってからは、(宿題) をしたり、遊んだりする。 ・両親が共働きの家の多くは、(ベビーシッター) をたのんでいる。 ・週末などに家族で (ホームパーティー) を楽しむ家が多い。 ・学校は (9) 月に始まり、(6月末) に終わる。夏休みは、(2) か月ある。

・日本の学校生活と比べて気付いたことを書き出してみよう！

(P70①の時間割も参考にしね。)

・授業の1コマが60分。 ・休み時間が少ない。 ・下校が時刻が早い。 など

(3) アメリカの人々のくらしや年中行事を知ろう。

グローバル化って何？P73 ことばをまとめましょう。

現代はインターネットや衛星放送で**世界各国のできごとがすぐに伝わり、国境を越えた活動をしている企業や団体も多くなっている。**そのため、ある国で起きたことが、ときには全世界に**いきょうをあたえることもある。**

アメリカの人々の暮らし

- ・アメリカでは、(車) で移動する人が多い。日本の車もたくさん走っている。
- ⇒ (国土) が広いので、車は生活になくてはならないもの。
- ・日本とはちがい、(料金) がかからない自動車専用の高速道路もある。
- ・休日は家族で大型のスーパーマーケットに行き、1週間分の食料をまとめて買う。
- 車で行きやすいように (駐車場) が広い。肉やパンなどは、(1日) では食べきれないくらいの量が (大きなふくら) やパックにつめられて売られている。

年中行事

- ・アメリカでは、ハロウィンや (感謝祭) の日に家族や親せきが集まってともに過ごす。
- ・日本よりも (リビングルーム) が広い。
- ・ハロウィンの日には、子どもたちがお化けや魔女などの好きな (仮装) をして近所をまわってお菓子をもらう。
- ・感謝祭は、17世紀に (イギリス) からアメリカへやってきた人々の苦勞を思い、それを助けた (先住民) への感謝の気持ちを表すことに由来する行事。
- ・アメリカでは比較的、(肉料理) が多く出される。
- ・昔から (受けつがれている) たくさんの行事がある。
- ・特に12月25日の (クリスマス) は1年間で最大の行事。

世界にえいきょうをあたえるアメリカ

- ・(自動車) の大量生産や(コンピューター) 産業など現代の生活を支えている(技術) や(産業) の多くが、アメリカで生まれた。
- ・文化面でも、アメリカの(映画) や(音楽) が世界の多くの人々に親しまれたり、アメリカで人気の(プロスポーツ) に(世界各国) から選手が集まったりしている。
- ・(ハンバーガー) やジーンズもアメリカで生まれた。
- ⇒(グローバル化) が進み、世界の大国の一つとして、政治や(経済) の面で大きなえいきょうをおよぼす(アメリカ) の動きに世界の多くの人々が注目している。

アメリカの産業

多文化社会って何？…P74 のことばをまとめましょう。

アメリカは建国以来、多くの移民を受け入れてきたが、グローバル化が進み、アメリカで仕事をして生活する人々が増え、より多文化社会になっている。異なる文化をもった人々とともに生きていくための理解や協力が、今後ますます重要である。

- ・アメリカでは、(広い土地) を生かして、(大型機械) を使った農業をしている。
 - ・小麦や(大豆)、果物が多く作られ、世界中に(輸出) されている。
 - ・(日本) とアメリカの貿易はさかん。
 - ・日本からアメリカには、(自動車) や機械がたくさん(輸出) されている。
 - ・アメリカは、(宇宙開発) の研究が進んでいる。
- ⇒広い(国土) をもつアメリカでは、(先住民) のほかに多くの国から(移住) してきた人々が生活している。さまざまな(民族) が世界中から集まっているため(多文化社会) といわれている。

多文化社会について、しょうたさんの話の内容からまとめてみよう。

- ・(英語) が主な言語だが、(スペイン語) を話す友達もいる。
- ・ロサンゼルスのような大きなまちには、チャイナタウンや(リトルトーキョー) がある。
→リトルトーキョーとは、(日本) からロサンゼルスに移住した人々がつくった地区。
(日系) 人が多い。
- ・毎年8月には(二世週祭) があり、現在では、四世、五世の(子どもたち) が育ち、アメリカで活やくしている。
- ・東日本大震災では、(日系人の団体) を中心にまちを挙げて日本への(支援活動) を行った。

まとめ

(学校の様子・衣食住・産業の様子・文化やスポーツ の言葉を使って自分なりにまとめてみよう。)

ふりかえり